

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場

びんだれ

秋田県指定天然記念物「鬢垂のシダレグリ」の里帰り

りんぼく

一林木遺伝子銀行110番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組ー

ポイント

秋田県大仙市にある推定樹齢約400年の県指定天然記念物「鬢垂のシダレグリ」(秋田県大仙市)の後継樹が、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場から秋田県大仙市に里帰りします。

概要

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター東北育種場(岩手県滝沢市)では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業では、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を行うとともに、事業の一環として、 所有者等の要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行110番」を行っています。

今回は、個人の所有者から増殖の要請を受けた「鬢垂のシダレグリ」の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰りします。

日時:令和6年4月14日(日) 午前9時00分

場所:秋田県大仙市協和船岡字庄内鬢垂 地内 原木前 1本植栽

※なお、午前10時から庄内山神社の祭典の後、秋田県大仙市協和船岡の庄内自治会館 敷地内、及び庄内山神社境内にも各1本植栽する予定

問い合わせ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター東北育種場

事業責任者:遺伝資源管理課 課 長 竹 田 宣 明(たけだ のぶあき)

担当者: 収集管理係長 織 邊 俊 爾(おりべ しゅんじ)

広報担当者:連絡調整課 連絡調整係長 濱本 光(はまもと ひかる)

Tel: 019-688-4518 Fax: 019-694-1715

メールアドレス: touhokuikusyu@ffpri.affrc.go.jp

※取材される方は、事前に上記連絡先までご連絡ください。

本資料は、秋田県政記者クラブ、岩手県政記者クラブに配布しています。

背景·経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている 天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風 雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木 遺伝資源として貴重なものです。一方で、樹木の中には衰弱しているものもあり、後継樹を増殖する ことが求められていました。

このため、林木育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱しているこれら樹木の後継樹を増殖し、里帰りを行う取組である「林木遺伝子銀行110番」を平成15年から実施しています。これまでに、全国から333件の要請があり、255件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました(令和5年度末)。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

内容

今回里帰りするのは、秋田県大仙市の県指定天然記念物の「鬢垂のシダレグリ」です。

「シダレグリ」は、普通のクリが偶然に変異したものとされていますが、秋田県内には他に自生したものはなく、この「鬢垂のシダレグリ」は、昔、旅の僧が飛騨(今の岐阜県)の国から持ってきたという言い伝えがあります。この「鬢垂のシダレグリ」の推定樹齢は約400年、樹高約8m、根元の幹周囲が約3.8mで主幹は東西に大きく二又に別れており、東側の幹の基部周囲が2.4m、西側が1.9mとなっています。学術的にも貴重であることから、昭和48年(1973年)に県の天然記念物に指定されました。

しかし、主幹の損傷及び腐朽により樹勢の衰えが生じていたことから、所有者から平成28年に林木遺伝子銀行110番の申請がありました。東北育種場では、後継樹の増殖を試みましたが、その作業は大変難航しました。令和4年4月に2回目の穂木の採取を行い、つぎ木で20本増殖を実施し、6本の苗木を育成することに成功しました。今回里帰りする苗木は、このうちの3本(苗高100 cm、90 cm、70 cm)で、原木の前に植栽する他、近隣の神社境内など2ヶ所にも植栽されます。

この苗木は、つぎ木により増殖させたクローン苗木であることから、親木と同じ遺伝子を持っており、二代目の「鬢垂のシダレグリ」として成長することが期待されます。

図、表、写真等





令和4年の「**鬢**垂のシダレグリ」の原木の写真

「鬢垂のシダレグリ」の枝をつぎ木して育てた後継樹